

地方分権改革の総括と展望について

平成5年の衆参両院の「地方分権の推進に関する決議」から今年で20年。地方分権改革は地方公共団体における実践の段階に入り、一定の成果が現れている。

- ・ 優良事例を収集し、課題を抽出するなど**これまでの取組を総括**。
- ・ 上記の総括を踏まえ、分権改革の**今後の展望**を取りまとめ、今後取り組むべき方向性を明らかにする。
- ・ 併せて、国民・地方に**改革の成果や優良事例を分かりやすく発信**。

総括と展望のための取組

地方分権改革有識者会議（座長：神野直彦東大名誉教授）において、以下の調査審議を実施。

- ① 地方公共団体に対する調査
これまでの改革による成果の活用事例や課題を調査
- ② 学識経験者・地方六団体からのヒアリング

<今後のスケジュール>

12月 調査・ヒアリングを踏まえ、有識者会議において
中間取りまとめ

来年1～3月 地方からの意見聴取など

来年4～5月 **最終取りまとめ**

→ 今後取り組むべき方向性を明らかに

改革の成果の国民・地方へのPR

1 ホームページやSNSを活用したPR

- ・ 分権に関するホームページの再構築
- ・ Facebook、Twitter等による能動的な情報発信（9月30日より開始）
- ・ 各地の分権改革の旗手のネットワーク化

2 地方の現場におけるPR

○ 有識者会議 地方懇談会（仮称）

趣旨： 地方からの意見聴取・自治体職員の啓発
時期： 来年1～3月

○ 地方分権改革シンポジウム（仮称）

趣旨： 国民に対して改革の取組や成果を広くPR
時期： 来年6～7月頃

地方分権改革の成果の国民・地方へのPR

ホームページやSNSを活用したPR

1. 地方分権改革に関するホームページの再構築

以下の3点を柱とした分かりやすいホームページづくり

- ① 改革の成果を活かした地方公共団体の優良事例の紹介(地方公共団体のホームページとのリンクなど)
- ② 分権クローズアップコーナー(仮称)の開設:地方公共団体の独自性の高い取組について、その背景や実際の効果をインタビューや投稿形式で詳しく紹介
- ③ 地方分権改革関係資料のアーカイブ化(検索しやすいような情報整理)

2. Facebook、Twitter等による能動的な情報発信

- 上記ホームページの更新情報などを随時提供(9月30日より開始)

3. 各地の地方分権改革の旗手のネットワーク化

- ① Facebook、Twitterなどを活用し、各地の取組・アイデアを双方向で日常的に情報交換できる場を提供
- ② 活躍する地方分権改革の旗手を掘り起こし、ネットワーク化

地方の現場におけるPR

1 地方分権改革有識者会議地方懇談会(仮称)

趣旨: 有識者会議議員が直接地方公共団体サイドから意見聴取することに重点を置きつつ、自治体職員を啓発。

時期: 中間取りまとめ～最終取りまとめ(来年1～3月)

開催回数: 2回程度(有識者会議議員4～5名ずつ)

開催場所: 地域的バランスに配慮しながら、希望する都道府県で実施。

主な対象者: 自治体職員

次第:(1)有識者会議議員から中間取りまとめに至る議論の説明、優良事例の紹介
(2)中間取りまとめに関するディスカッション

2 地方分権改革シンポジウム(仮称)

趣旨: 国民に対してわかりやすく地方分権改革の取組や成果を広くPRする。各団体における一層の取組につながるよう、先進的な地方公共団体の取組を共有。

時期: 来年6～7月頃

開催回数: 1回(平成26年度) **開催場所:** 東京

主な対象者: 一般国民・地方公共団体・関係団体

次第:(1)地方分権改革担当大臣あいさつ
(2)有識者による基調講演
(3)先進的な自治体から具体的な取組のプレゼンテーション、優良事例紹介
(4)パネルディスカッション、質疑応答